

平成25年度

事業計画書

目次

1 事業計画について

I／経営ガバナンスの改革	1
II／教育・大学改革	
III／財政改革	
IV／人事・給与制度改革	
V／安全衛生管理体制の再構築	
VI／学生募集、就職支援体制の強化	
VII／教育研究環境等の整備	
VIII／地域貢献、社会貢献	
IX／教育・研究における平成 24 年度重点目標の実現（別掲）	

2 重点目標

..... 3

はじめに

アベノミクスへの期待等により、景気の先行きに明るさが見えてきました。勿論、巨大な公的債務問題の解決の道筋が示されておらず、その帰結はまだ見えませんが、取り敢えずは好感される状況と言えます。大学もその恩恵を受ける可能性があります。その構造的な課題を考えると、改革の歩みに遅滞は許されません。

本学では「学生募集」に改善の兆しが見えず、依然として最大の課題となっています。そこで、昨年度に学園と大学で慎重に協議を重ね、改組転換を中心とした大学の改革策を策定しました。今後はこれらを着実に実行してまいります。これが教育改革や学生募集の改善に繋がらなければ、本学の継続的な発展はありません。本年度は、おぼせキャンパスリニューアルの効果を発揮し、すべての分野での改善、改革に積極的に取り組んでまいります。

1 平成25年度の事業計画

I．経営ガバナンスの改革

困難な時代を乗り越え、継続的に安定した経営を実現するためには、明確な目標、迅速な意思決定、そして他大学に負けないスピードでの改革が必要となります。本年度は、学園と大学で一体的に構成した経営協議会を中心に、将来の明確な指針となる新たな中期経営目標を策定するとともに、迅速かつ的確な意思決定が可能なシステムを再構築します。

- (1) 中期経営目標の策定
- (2) 平成26年度からの学園運営体制の検討

II．教育・大学改革

本学の存在意義である「建学の理念」を実現するためには、時代の変化に対応した大学、教育改革は必要不可欠なものとなります。本学は、昨年度に学部学科の再編を中心とした大学改革策を策定しましたが、本年度はそれらを着実に実施するとともに、教育改革に取り組みます。

- (1) 教職教養センターの設置及び活動強化
- (2) 平成26年度の学部学科再編成の準備

III．財政改革

本学は平成21年度に中期経営目標を策定し、本年度での帰属収支差額の均衡を目指しています。現環境下では学納金収入の増加は望めず、当初予算ではその達成が厳しい状況ですが、厳密な予算管理等により経費の削減に努め、目標達成を目指します。

また、財務業務の的確性等を担保するため、関連システムをリニューアルします。

- (1) 学長査定特別予算のうち、重点設備予算等凍結（昨年度から継続）
- (2) 事務予算の一律10%マイナスシーリング（昨年度から継続）
- (3) 会計システムの更新、新予算管理システムの導入

IV．人事・給与制度改革

本学の人事・給与制度は基本的に国家公務員の制度に準拠していますが、本学の経営状況や環境の変化等を踏まえ、当該制度の変更を検討、実施します。

また、機動的な人事政策やコンプライアンスを担保するため、新人事管理システムを本格稼働します。

V．安全衛生管理体制の再構築

キャンパスでの安全確保は大学の責務ですが、工科大学の特殊性を考えると、本学にはきめ細やかな安全管理が求められます。また、精神疾患の増加が社会問題となるなか、本学においても衛生管理の重要性が高まっていることは言うまでもありません。本年度は、安全衛生管理体制を再構築し、安全で快適な教育研究環境、職場環境の実現に取り組みます。

VI．学生募集、就職支援体制の強化

「学生募集」は経営の要であり、その改善が本学の最重要課題となっています。本年度は全学的な学生募集体制を再構築するとともに、広告関連予算を増額して各種媒体を活用した広報活動を幅広く実施します。

また、厳しい雇用環境を踏まえ、低学年を対象とした学内インターンシップ制度の導入や実践的なキャリア教育の実施により、就職支援を強化するとともに、当該部門に重点的に人材を配置します。

VII．教育研究環境等の整備

本年度は以下の教育研究環境等の整備事業を実施します。

- (1) グループウェアの更新
- (2) 図書館システムの更新

VIII．地域貢献、社会貢献

工学部は、日産自動車九州㈱との共同研究をはじめとする産学連携を推進すると共に、平成25年4月から「自動車・ロボット研究所」を開設し、地域産業の振興に努めます。

また、デザイン学部では、北九州市やリバーウォーク北九州等との地域連携の他、北九州市内の10大学で開設する「まちびとESDステーション」を活用した地域貢献を推進します。さらに、文部科学省の大学改革実行プランを受け、おばせキャンパスにCOC「地(知)の拠点」の設置を目指します。

IX．教育・研究における平成24年度重点目標の実現

(別掲)

2 平成25年度重点目標

I. 建学の理念・目的

建学の理念

「人間性に支えられた高度の工業技術者を、広く学術の研鑽を通じて育成する」

モットー

「人を育て技術を拓く」

「豊かな人間性の練成とすぐれた工業技術者の育成」

目的（行動する目標）

- ・国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者育成
- ・未知の分野に立ち向かうことの出来る気力と自信を持った技術者の育成
- ・世界に向かって「夢」を発信する西日本工業大学の建設

教育方針

- ・徳育を最重点課題とし、知育、体育がこれを助ける教育の実施
- ・産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家の育成
- ・学生の長所を伸ばすきめ細かな教育の実現

II. 中期目標

開学50周年を目指した新たな基盤の構築

- ・変化に耐えられる大学づくり
- ・学生も教職員も、また地域社会も誇りに思う西日本工業大学の建設
- ・学生と向き合う教育の推進（人を育て技術を拓く）
- ・産官民との連携強化による教育研究の活性化

III. 平成25年度の教育方針と実行目標

教育方針

- － 学生の目線での教育・学生支援の実施（人を育て・・・）－
- ・心の通う学生への対応／分かる授業の創造／適正な成績評価
- ・幅広い社会的見識（学士力、社会人基礎力）をもつ技術者の育成
- ・自信と困難にも挑戦する気力を持った若者の育成
- ・自分の頭で考え、創意工夫する若者の育成

実行目標

- － 危機的な状況を認識し、精一杯の知恵と勇気で前進 －
- ・総力をあげた学生募集と就職支援
- ・平成26年度からの新教育体制へのスムーズな移行準備
（系の枠に捉われない学部・学科運営と教育の実施）
- ・教育改革の推進（文科省：大学改革実行プラン／中教審答申への対応）
（教育課程の体系化、COC構想、大学ポートレート、教学マネジメントなど）
- ・大学認証評価の適合獲得
（自己点検評価書の作成）

昨年度からの継続

- ・学生の目線での教育・学生支援活動
（授業アンケート・学生アンケートへの対応／分かる授業の創造／留年率・休退学率・卒業率の改善）
- ・学生の科学技術活動の活性化と支援
（科学技術活動のさらなる推進）
- ・教員による教育研究活動の活性化
（科研費補助金の全員申請／外部研究資金の獲得）